

東北の国有林

令和4年度 東北森林管理局の取組



複層伐施業
(山形県)



青森ヒバ天然林
(青森県)



白神山地ブナ林空撮
(秋田県)



海岸防災林
(宮城県)



早池峰山頂から
薬師岳を望む (岩手県)



国民の森林・国有林

林野庁 東北森林管理局

目 次

I 東北森林管理局について

1 沿革	1
2 組織	2
3 東北の国有林	3

II 事業内容

1 森林資源の適正な管理・利用

(1) 重視すべき機能に応じた管理経営	4
(2) 間伐・再造林による森林吸収量の確保強化	4
(3) 適正な伐採と再造林の確保	4
(4) 針広混交林等の森林づくり	5
(5) 森林整備・治山対策による国土強靱化	9

2 「新しい林業」に向けた取組の展開

(1) イノベーションで、伐採→再造林保育の収支をプラス転換	11
(2) 林業従事者の所得と労働安全の向上	13
(3) 長期・持続的な林業経営体の育成	13

3 木材産業の国際＋地場競争力の強化

4 都市等における「第2の森林」づくり

5 新たな山村価値の創造

6 その他の取組

III 令和4年度の取組

1 主要事業量

(1) 東北森林管理局計	20
(2) 県別内訳	21

2 国有林人工林の状況

3 県別重点取組

(1) 青森県における東北森林管理局の重点取組	24
(2) 岩手県における東北森林管理局の重点取組	26
(3) 宮城県における東北森林管理局の重点取組	28
(4) 秋田県における東北森林管理局の重点取組	30
(5) 山形県における東北森林管理局の重点取組	32

I 東北森林管理局について

1 沿革

国有林は明治維新の際に藩有林、社寺有林、所有不明林を継承して成立しました。局管内には、日本三大美林の青森ヒバ林（津軽・下北半島）、秋田スギ林（秋田県北部）が分布しており、針葉樹林と広葉樹林が広がっています。国有林では、これまで一世紀半、何世代にも渡り、森林づくりを続けてきました。



秋田杉子造材之図・伐木の図

1867年
(慶応3年)

大政奉還

1869年
(明治2年)

版籍奉還により、藩有林の多くは官林となる

1874年
(明治7年)

地租改正の一環として定められた「山林原野等官民有区分処理法」により、森林の所有者を明確にするための「官民有区分」開始

1878年
(明治11年)

内務省地理局 秋田出張所 同 青森出張所



秋田大林区署

1879年
(明治12年)

内務省山林局 秋田出張所 同 青森出張所

青森大林区署

1881年
(明治14年)

農商務省 秋田山林事務所 同 青森山林事務所

1886年
(明治19年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署



1888年
(明治21年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署

1889年～
(明治22年)

一部、御料局へ移管（宮城は御料地に編入）
（うち青森、岩手の一部は陸軍省へ）

1893年
(明治26年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 ※宮城へ統合

明治27年 保安林取扱心得発令
明治30年 森林法制定

1897年
(明治30年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署 ※青森へ統合

1903年
(明治36年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 ※宮城を青森、山形を秋田へ統合

1913年
(大正2年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署

大正4年 保護林の設定

1924年
(大正13年)

農商務省 秋田営林局 同 青森営林局



秋田営林局

明治33年竣工



青森営林局

明治41年竣工（現在は博物館）

1947年
(昭和22年)

林政統一 農林省林野局が一元的に所管

農林省林野局 秋田営林局（秋田、山形） 同 青森営林局（青森、岩手、宮城）

昭和26年 国有林野法制定
昭和39年 林業基本法制定

1978年
(昭和53年)

農林水産省林野庁 秋田営林局 同 青森営林局



昭和38年竣工（現在も使用）

1999年
(平成11年)

東北森林管理局 同 青森分局

平成11年 国有林野法改正（名称を国有林野管理経営法へ変更）

2004年
(平成16年)

東北森林管理局（青森事務所）

平成24年 国有林野管理経営法改正 平成30年 森林経営管理法制定 平成31年 森林環境税法制定
令和元年 国有林野管理経営法改正 令和2年 森林組合法改正 令和3年 公共建築物木材利用促進法改正

2 組織

林野庁

東北森林管理局

総務企画部

総務課

広報、研修、文書管理、職員の人事、給与、手当災害補償、健康安全、公務員宿舎、林野庁共済組合

企画調整課

企画、地方自治体等との連絡調整、局内の予算調整、業務の会計監査、事務改善、PC等システムの管理

経理課

経費及び収入の予算・決算、会計、債権管理、物品の調達・管理、役務の調達、庁舎の営繕、防火管理

計画保全部

計画課

森林計画の策定、野生動植物の保護管理、保護林、生物多様性の保全、管内各種図面の調製・保管等

保全課

国有財産の管理、処分、境界の保全、森林病虫害対策、官行造林契約、地域振興等を目的とした貸付等

治山課

保安林、森林治水事業（荒廃山地の復旧・予防対策等）、林野の保全に係る地すべり防止に関する事業

森林生態系保全センター
(津軽白神、藤里、朝日庄内)

森林生態系保護地域の保全管理、自然再生活動、森林環境教育、各種団体と連携した取組、情報発信等

森林整備部

森林整備課

国有林野の造林、林道の開設・改良その他の森林の整備、分収造林及び分収育林

資源活用課

持続的かつ計画的な供給のための国有林材の生産・販売やそのための調査、木材情報の受発信等

技術普及課

森林・林業に関する知識の普及、技術開発、自然再生及び民有林と連携した取組

森林技術・支援センター

国有林野を活用した試験地調査、研究機関と連携した取組、研修及び検討会の企画運営

青森事務所

青森・岩手・宮城の3県における、地元関係者との連絡調整や森林管理署への技術指導等

森林管理署・支署(24)

総務グループ

[福利厚生、経理、森林利用、財産管理]

業務グループ

[国有林野の森林整備、林産物の収穫・販売、林道、経営計画、森林環境教育]

治山グループ

[治山、保安林管理]

森林事務所(167)

担当する国有林野の管理と各種事業の調査、監督、検査等

治山事業所(6)

森林管理署等と分担した、担当区域の治山事業（山地災害の防止、復旧等）

3 東北の国有林

- 青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県の5県にまたがる国有林野を管理経営
5県の県土面積532万haのうち、国有林の面積は約31%に当たる165万ha
- 日本三大美林に数えられる青森ヒバの天然林が津軽・下北半島を中心に、秋田杉の天然林が
秋田県北部を中心に分布し、奥地脊梁山地などにブナ・ミズナラなどの天然広葉樹林が分布
- 人工林の植林や間伐などの森林整備、スギ・カラマツ等の木材供給を通じた木材産業支援等
で地域振興に貢献



白神山地のブナ林（米代西部署）



青森ヒバ天然林（青森署）



カラマツ人工林（三陸北部署）



秋田杉天然林（上小阿仁支署）



海岸防災林（庄内署）



蔵王地域の樹氷（山形署）

〈森林資源の状況〉

区分	県土面積 (千ha)	森林面積 (千ha)		森林率※ (%)		国有林の林種別面積 (千ha)		
			うち国有林		うち国有林	人工林	天然林	その他
青森県	965	629	391	65%	41%	134	239	18
岩手県	1,528	1,169	385	77%	25%	157	198	30
宮城県	728	412	126	57%	17%	44	73	9
秋田県	1,164	839	391	72%	34%	152	219	20
山形県	932	669	353	72%	38%	61	266	26
計	5,316	3,719	1,646	70%	31%	547	995	104

区分	国有林の樹種別蓄積 (千m ³)							
	スギ	カラマツ	ヒバ	アカマツ	その他N	ブナ	ナラ類	その他L
青森県	20,273	2,260	13,190	2,325	1,396	15,953	2,011	16,154
岩手県	9,788	9,171	670	7,644	1,656	10,520	3,057	17,955
宮城県	4,925	1,101	47	2,580	448	6,325	479	6,406
秋田県	30,053	2,104	360	617	1,414	14,351	1,575	13,480
山形県	12,939	1,202	75	462	798	12,757	1,860	11,013
計	77,979	15,838	14,342	13,628	5,712	59,906	8,982	65,008

出典：国有林面積及び民有林面積は、林野庁「森林資源の現況（平成29年3月31日現在）」

国有林の蓄積は、東北森林管理局「令和3年事業統計書（令和2年度版）」

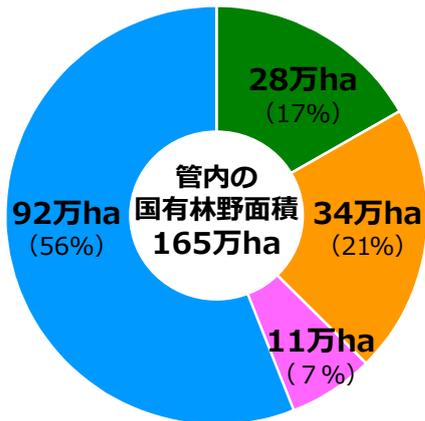
※森林率：県土面積に対する森林の割合

II 事業内容

1 森林資源の適正な管理・利用

(1) 重視すべき機能に応じた管理経営

森林づくりに当たっては、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの多様な要請に適切に対応するため、個々の国有林を重点的に発揮させるべき機能によってタイプ別に区分し、管理経営の主目的を明確化した上で、それぞれの機能が十分発揮されるよう適切な施業を推進します。



■ 山地災害防止タイプ

山崩れなどの山地災害を防止する機能を重視

■ 自然維持タイプ

森林生態系の保全や貴重な野生動植物の保護など自然環境を保全する機能を重視

■ 森林空間利用タイプ

レクリエーションなど森林とのふれあいの場を提供する機能を重視

■ 水源涵養タイプ

良質で豊かな水を供給する機能を重視

出典：東北森林管理局「令和3年事業統計書（令和2年度版）」

(2) 間伐・再造林による森林吸収量の確保強化

地球温暖化防止には、森林整備や木材利用等による森林吸収源対策が重要です。2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、**適切な間伐等の実施、天然生林等の適切な管理・保全**などに取り組みます。また、中長期的な森林吸収量の確保・強化を図るため、間伐等特措法に基づく新たな措置を活用し、成長や材質に優れた**エリートツリー等の再造林を促進**します。



エリートツリー
(成長や材質に優れた苗木)

(3) 適正な伐採と再造林の確保

◆ 森林資源の循環利用

森林の多面的機能が高度に発揮されるよう、利用期に達した森林を自然環境に配慮しながら適切に伐採するとともに、確実な更新を行うことで、豊富な森林資源を「**伐って、使って、植えて、育てる**」という形での循環利用を推進します。

また、これらの取組を効率的に進めるため、**現地に即した林道等の路網整備**も進めます。



◆ 林地保全に配慮した施業

民有林の模範となるよう、とりわけ山地災害リスク軽減に向けて、これまで以上にきめ細やかに林地保全に配慮した施業に取り組みます。具体的には、森林整備や木材の集材・搬出のために利用する森林作業道について、林地崩壊を招かないよう、事業者と共にチェック体制を定着させ、森林作業道作設指針に沿って定めた特記仕様書に基づく作設に取り組みます。



森林作業道（イメージ）

（４） 針広混交林等の森林づくり

◆ 多様な森林づくり

森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくため、現地の状況に応じた多様で健全な森林への誘導を推進します。

林齢や樹種の違う複層状態の森林の整備（育成複層林）、針葉樹と広葉樹の混交を促進する施業（針広混交林化）等に取り組みます。

育成複層林



林齢や樹種の違う
複層状態の森林の整備

針広混交林



針葉樹と広葉樹の混交
を促進する施業

【ヒバ林復元プロジェクト】

津軽半島、下北半島の青森ヒバ林の拡大・充実が図られるように、スギ等人工林において、天然更新によるヒバの稚幼樹が比較的多いところを対象に、ヒバ林へ復元させる「青森ヒバ林復元プロジェクト」を実施しています。

令和3年度はプロジェクト5年目の取組として、伐採種ごとの稚幼樹の生育状況についてとりまとめ、中間報告を行いました。

令和4年度は、令和8年度の最終報告に向けた調査分析を引き続き行い、令和9年度の本格実施を見据えた課題の対応に取り組みます。



スギ林内に生育するヒバの稚樹

◆生物多様性の保全

森林生態系は野生動植物の生息・生育の場や種・遺伝子の保管庫として、生物多様性の保全にとって最も重要な位置を占めています。東北森林管理局では、様々な林齢からなる多様な森林生態系の保全に取り組んでいます。

■保護林

大正4年(1915年)に発足した保護林制度では、国有林野内の**森林生態系や希少な野生動植物を将来にわたって保護・管理**していくため、「森林生態系保護地域」、「生物群集保護林」、「希少個体群保護林」を設定し、適切な保全に取り組んでいます。

森林生態系保護地域 【8箇所 119,600ha】

気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理

生物群集保護林 【16箇所 77,721ha】

地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理

希少個体群保護林 【71箇所 2,294ha】

希少な野生動植物の生息・生育に必要な森林を保護・管理

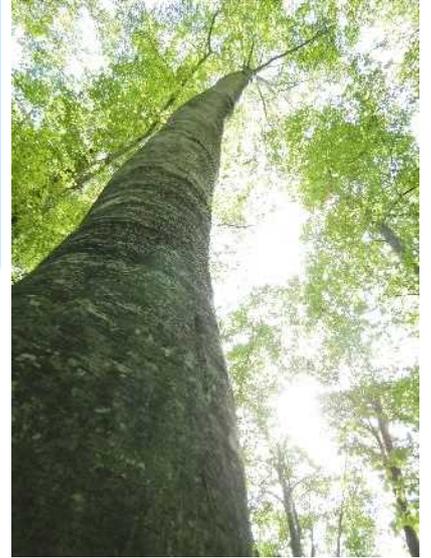
(R3.4.1時点)



栗駒山・柄ヶ森山周辺森林生態系保護地域
(岩手南部署、宮城北部署、湯沢支署)



奥羽山脈北西部生物群集保護林・佐渡杉
(秋田署、上小阿仁支署)

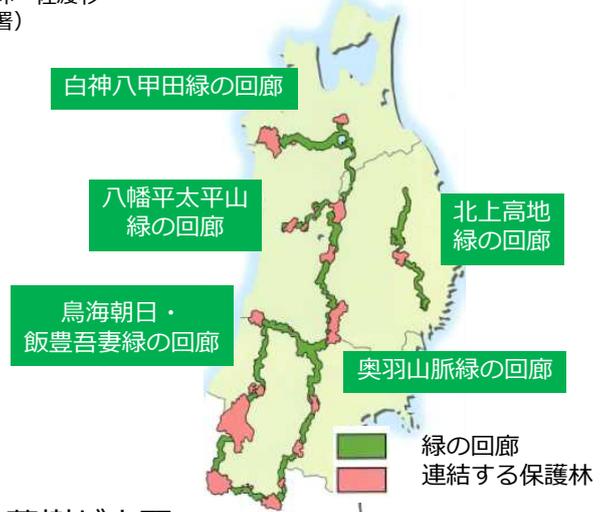


奥赤石ブナ遺伝資源希少個体群保護林
(津軽署)

■緑の回廊

動植物の個体群の交流を促進して、種の保全や遺伝的な多様性を確保するため、**保護林を連結してネットワークを形成**する「緑の回廊」を設定しています。

東北森林管理局では、全国に先駆けて平成12年度からこれまでに5箇所設定しており、総延長約900km、面積約18万haとなっています。



■世界自然遺産 白神山地

白神山地の国有林は、ブナを中心とする冷温帯落葉広葉樹が大面積に分布し、雄大な山岳景観とともに、そこに生息・生育する動植物がとて豊富です。きわめて貴重な天然林であるため、森林生態系保護地域に指定しており、平成5年には世界遺産条約に基づく自然遺産として登録されました。地域内は、**人手を加えずに自然の推移に委ねる「核心地域」と、必要に応じ一定の行為を規制する「緩衝地域」**に区分されています。核心地域は、青森県側の指定ルートでの登山や学術研究などの場合を除き、入林を制限しており、入林の際には手続が必要です。

世界自然遺産地域の多様な動植物の保護のため、周辺地域において地方自治体、NPO団体等と連携を図りながら、密漁やゴミの不法投棄などを監視するための**パトロール**や、**森林の適切な管理**等に取り組んでいます。



◆ 病虫獣害対策等

■ ナラ枯れ被害対策

被害の拡大を防止するため、**被害発生状況の的確な把握と関係者との情報共有**、重点的・効果的な防除対策に取り組みます。伐倒くん蒸や樹幹注入など従来から実施してきた防除事業のほか、令和3年度に試行した「**おとり丸太法**」についても、今年度は複数の署で取り組みます。



ナラ枯れ被害木の伐倒くん蒸
(三陸北部署：岩手県岩泉町)



ナラへ予防薬剤の樹幹注入
(秋田署：秋田県仙北市)



おとり丸太によるカシノナガキクイムシ誘引
(津軽署：青森県深浦町)

■ 松くい虫被害対策

日常的な巡視により被害動向を把握し、被害木の処理、保護林・公園等の貴重な松を守るための**予防薬剤の樹幹注入**、海岸のクロマツ林を保護するための**予防薬剤の地上散布**、被害にあったクロマツ林を再生するための**準抵抗性クロマツ苗の植栽**を実施します。



ドローンを活用した松くい虫被害確認
(庄内署：山形県酒田市)



予防薬剤の地上散布
(米代西部署：秋田県能代市)



準抵抗性クロマツ苗の植栽
(庄内署：山形県酒田市)

【蔵王地域のアオモリトドマツ林の再生】

森林の公益的機能の維持に向け、キクイムシ等により被害を受けたアオモリトドマツ林の維持・再生に取り組みます。研究機関を含む関係機関と連携して、各種調査等を実施しており、令和4年度は**蔵王地域の枯損に係る検討会や現地検討会を開催**します。また、現地で小学生等を対象とした森林体験学習等を実施します。

◇ 再生に向けた取組

- ① 自生苗を採取し、試験的に移植
- ② 稚樹の育苗試験
- ③ 種子の採取
- ④ 研究機関等との連携

◇ 被害状況の把握

- ① ドローンを活用した被害状況調査
- ② トウヒツツリヒメハマキの食葉被害の継続調査
- ③ キクイムシによる被害のモニタリングの継続調査
- ④ 林況調査の継続等



移植作業（2021年6月）
(山形署：山形県山形市)



検討会の様子（2021年11月）
(山形署：山形県山形市)



トウヒツツリヒメハマキの食葉被害
(2021年10月撮影)

■二ホンジカ被害対策

東北地方においても二ホンジカの分布が拡大しており、森林被害が懸念されています。

ICTを活用した捕獲事業、自治体等とのわな貸出協定や冬期におけるシカ捕獲のための**林道除雪**による捕獲支援等により地域と連携したシカ捕獲を実施します。また、専門家と連携して、**白神山地周辺**ではセンサーカメラや食痕等に付着したDNAを利用した**生息状況の把握や捕獲に向けた誘引試験**、**早池峰地域**では貴重な高山植物を守るための**植生保護柵の設置**等を実施します。



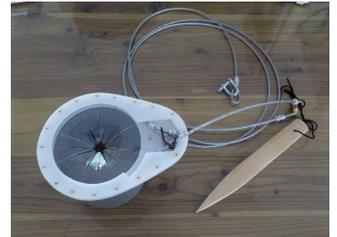
ICTを活用した捕獲システム（イメージ）



早池峰山での植生保護柵の設置
(三陸北部署：岩手県宮古市)

自治体等へのわな貸出数

R3 : 380
→ R4 : 530



■ツキノワグマによる剥皮被害対策

特に山形県置賜地域で被害が増加していることを受け、関係者と連携し、**被害発生状況の的確な把握と情報共有**、重点的・効果的な防除対策の検討に取り組みます。

被害防除対策の実施

R3 : 2ha
→ R4 : 25ha



町と協力して実施した被害調査
(山形県小国町)



県・市町・森林組合を対象とした研修
(山形県飯豊町)



職員による被害防除対策
(山形県米沢市)

■地域住民や関係各機関との連携

森林ボランティアや市町村等と連携して、**遊歩道の環境整備**や**不法投棄物クリーン活動**等に取り組みます。また、**林野火災や不法投棄防止のための合同パトロール**等に取り組みます。



ボランティアによる遊歩道の環境整備
(青森署：青森県青森市)



森林ボランティアとのクリーン活動
(金木支署：青森県五所川原市)



市町村や事業体等とのクリーン活動
(遠野支署：岩手県遠野市)

(5) 森林整備・治山対策による国土強靱化

◆ 森林整備による多面的機能の維持・増進

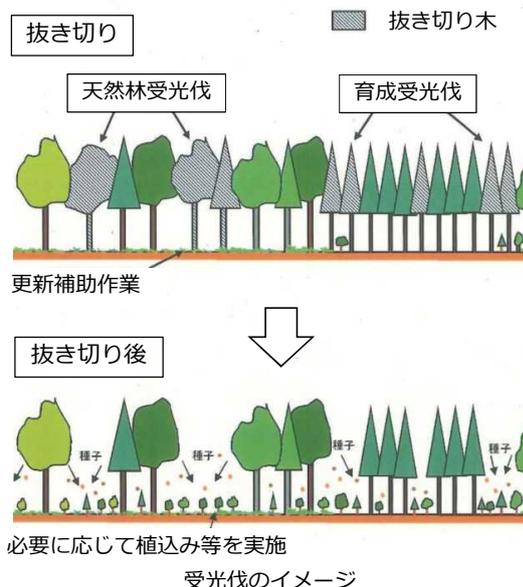
水源涵養機能、山地災害防止機能等、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、間伐や受光伐等の適切な森林整備に取り組みます。



保護伐
(モザイク状の伐採による面的複層林)



保育間伐活用型(列状間伐)



保護伐：針葉樹と広葉樹が混交した保護樹帯の整備やモザイク状の森林への誘導のための伐採

保育間伐活用型：森林のもつ公益的機能を高度に発揮させるため、密度調整の伐採を行うとともに、伐倒木を造材・集材・巻立し資源を有効利用

受光伐：天然力の活用等により広葉樹等を導入するための主伐及び下層木の育成のため光環境の改善と生育空間の確保を目的に行う間伐。

◆ 治山対策による山地防災力の強化

■ 荒廃山地の復旧整備

近年多発している台風、集中豪雨等により、山地災害が発生した場合、**迅速に現況調査を行い、応急対策及び災害復旧対策**を実施します。



久喜地区災害関連緊急治山工事
【令和元年東日本台風】(岩手県久慈市)



蔵王温泉地区災害関連緊急治山工事
【令和元年東日本台風】(山形県山形市)



小塚山5号災害復旧工事
【令和元年東日本台風】(宮城県丸森町)

■ 災害発生の危険性低減のための予防対策

山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、流木や土石流、山腹崩壊の発生を抑制する**治山施設の整備**等による防災・減災対策を推進します。



白糸沢地すべり防止工事
(上小阿仁支署：秋田県北秋田市)



山腹工
(最上支署：山形県戸沢村)



鋼製スリットダム
(津軽署：青森県弘前市)

◆ 災害発生時の迅速な対応

■ 山地災害発生時の初動対応

山地災害が発生した（発生のおそれがある）場合には、早期に被害状況を把握するため、ヘリコプターによる上空からの調査に加え、地上からは国有林防災ボランティアの協力やドローン等も活用して効率的な調査を実施します。



ヘリコプターによる青森県との合同調査



ドローンを活用した民有林林道の被災状況調査への協力（山形県南陽市）



風雨時でも調査可能な災害用ドローン

■ 山地災害対策緊急展開チーム等の派遣

国有林、民有林にかかわらず大規模な山地災害が発生した際、国や地方公共団体等による山地災害等対策業務の迅速かつ円滑な実施を図るため、山地災害対策緊急展開チーム等を編成し、職員を県や市町村等に派遣します。



令和3年8月青森県むつ市での豪雨災害にかかる林野庁・県・専門家等との合同調査
（左：打合せ、中央・右：現地踏査）

【東日本大震災の津波により被災した海岸防災林の再生】

津波で流出しにくい海岸防災林を造成するため、平成23年度から令和2年度までの10年間をかけ、生育基盤となる盛土造成からクロマツ等の植栽までの復旧事業が完了しました。今後は適切な時期に本数調整伐等を実施し、健全な海岸防災林の育成に取り組みます。



津波被災直後の状況
（仙台署：宮城県仙台市）



海岸防災林の育成・つる切り
（宮城北部署：宮城県東松島市）



海岸防災林の育成・本数調整伐後
（仙台署：宮城県仙台市）

2 「新しい林業」に向けた取組の展開

(1) イノベーションで、伐採→再造林保育の収支をプラス転換

◆ 森林資源の循環利用に向けた省力化・効率化の取組

■ 伐採から造林までの一貫作業の推進

伐採時に使用した林業機械を地拵や苗木の運搬に活用するなど、**伐採から造林までの一貫作業**を推進し、主伐後の再造林の着実な実施及び造林の省力化・効率化に取り組みます。



林業機械による伐倒・造材
(上小阿仁支署)



搬出に使用したフォワーダを
活用した苗木の運搬 (青森署)



コンテナ苗の植栽
(米代東部署)

区分	R 3年度	R 4年度
一貫作業システム件数	45件	56件
立木販売との混合契約	1件	19件

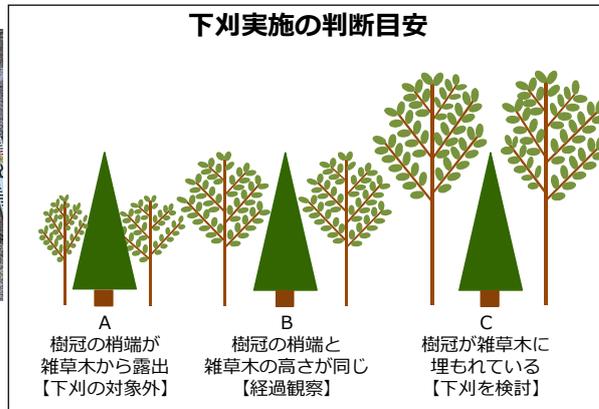
■ 下刈の低コスト化

下刈回数は、従来の6回程度から3回程度まで低減してきましたが、伐採から造林までの一貫作業に**スギコンテナ大苗** (苗高60cm以上) を積極的に導入し、更なる低減を図ります。また、**カラマツ**についてもコンテナ苗 (当年生) 及びコンテナ大苗 (苗高80cm以上) の植栽試験を開始します。

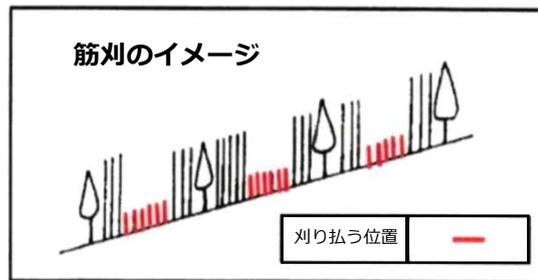
さらに、試行的に**下刈の作業期間を6月～10月末**までとし、下刈作業の軽労化に取り組むとともに、令和4年度を期首とする「**筋刈導入3か年計画**」を作成し、下刈面積の削減に取り組みます。



スギコンテナ大苗
(由利署)



区分	R 3年度	R 4年度
コンテナ大苗 植栽本数	103千本	171千本



■ 低密度植栽の推進

植栽本数を減らすことで、苗木代や植栽の労務費等、再造林コストを削減するとともに、間伐回数等を減らして育林コストの削減にも資する低密度植栽の推進に取り組みます。



ha当たり500～2,500本植えの
低密度植栽試験地
(由利署：秋田県由利本荘市)

■ 早生樹の技術開発

少雪地 (岩手県田野畑村) と**多雪地** (秋田県北秋田市) で**成長の早い早生樹 (ユリノキ、ヤマハンノキ) の植栽試験を実施**し、スギと比較して成長が良好 (下刈は2回に縮減) との結果が得られました。

今後は保育作業や用途 (材質)、萌芽更新等について調査が必要であり、継続して経過観察を実施します。



植栽5年後のユリノキ
(米代東部署：秋田県北秋田市)

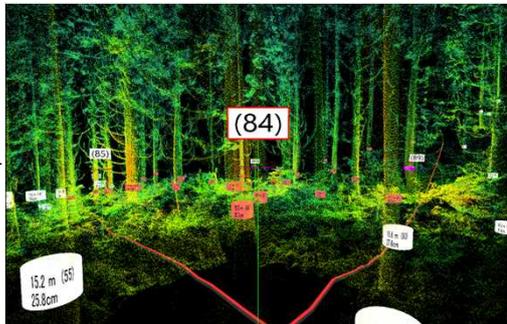
早生樹植栽試験地
R4：2箇所

◆ ICT機器の活用

■ 森林3次元計測システム

傾斜の緩急や地表植生による影響、樹種の違いなど、様々な条件での収穫調査を実施し、精度の検証と機器導入の可能性を探ります。

R4：全署で試行予定



調査の状況
(森林技術・支援センター)

取得したデータで作成した3次元点群表示

■ ウェアラブルカメラ

監督職員等が工事現場等で行う段階確認等について、映像と音声の双方向通信を使用して行う**遠隔臨場の試行**に取り組みます。



治山現場との遠隔臨場
(秋田署)

■ ドローン

新植地等の面積確定や**森林蓄積調査**、**造林事業の検査**等の事業ベースでのドローン活用を推進します。



ドローンによる材積推定
(湯沢支署)



ドローンによる調査
(藤里センター)

■ モバイル端末

境界管理業務の効率化に向けて、モバイル端末を活用し、現地での位置情報の確認や、境界周辺の写真を撮影し次回確認時の参考とする等、**活用方法等の検証**に取り組みます。



現地での活用 (青森署)

◆ 生産性向上実現プログラム

生産性の高い林業を確立するため、令和4年度を期首とする「**生産性向上3か年計画**」を作成し、林業事業体等と連携し、作業日報の活用や現地検討会を開催します。

令和4年度は毎日のミーティングで情報共有と作業指示を徹底し、段取りの向上に取り組みます。



生産性向上中間会議
(三陸中部署：岩手県住田町)



現地検討会
(仙台署：宮城県七ヶ宿町)

◆ 路網の整備

それぞれの道の役割や自然条件、作業システム等に応じて適切に組み合わせた路網の整備を推進するとともに、木材の大量輸送や災害時の代替路機能に対応できるよう、**路網の強靱化・長寿命化**に取り組みます。

■ 1種林道

セミトレーラー等の大型車両が通行できる1種林道を整備します。



フルトレーラーによる木材運搬 (イメージ)

■ 壊れにくい林道

防災機能の強化に向けた林道の開設・改良を推進するとともに、簡易な資材による低コストな施工技術の確立に取り組みます。



大型かご砕工・モルタル吹付工
(宮城北部署：宮城県栗原市)



東北式シート工法 (轍掘れ軽減対策)
(湯沢支署：秋田県湯沢市)

区分	R3年度	R4年度
1種林道	1(調査)	1(調査) 1(工事)
強靱化	20路線	8路線
シート工法	3路線	全署

(2) 林業従事者の所得と労働安全の向上

林業経営体の健全・安定した経営に資するため、一定の**事業量を安定的に発注**していくほか、**複数年契約**に取り組みます。また、林業における労働災害を低減していくため、林業従事者を対象とした**現場での安全指導や研修の実施、安全装備の導入等**を推進します。



林業事業体への安全指導
(由利署：秋田県由利本荘市)



労働災害防止協議会
(最上支署：山形県真室川町)

複数年契約（新規）

区分	R 3年度	R 4年度
新規件数	3	7
面積 (ha)	260	1,327
材積 (千m ³)	21	92
コンテナ苗 植栽本数 (面積)	21千本 (11ha) ※翌年(R4)春植予定	32千本 (16ha) ※翌年(R5)春植予定

※複数年契約の期間は2～3年となる。

(3) 長期・持続的な林業経営体の育成

◆ 林業の担い手育成への協力

林業経営体が長期的・安定的な経営を行えるよう、**現地検討会を通じた先進的な技術の普及等**に取り組みます。また、将来の担い手の育成に向けて各県で取組が進められている**林業大学校等への講師の派遣やフィールドの提供等**を実施します。



林業事業体を対象とした採材検討会
左：津軽署（青森県大鰐町）、右：三八上北署（青森県東北町）



有用天然木保全検討会
(置賜署：山形県小国町)

○ 管内林業大学校との連携体制

学校名	連携体制	窓口となる署
いわて林業アカデミー <研修センターに相当>	運営協議会に盛岡署が参画	盛岡森林管理署
秋田県林業トップランナー研修（通称：秋田林業大学校）<研修センターに相当>	秋田を元気にする緑の覚書	秋田森林管理署
山形県立農林大学校 <専修学校に相当>	やまがた森林ノミクスの推進に関する覚書	最上支署
青い森林業アカデミー <研修センターに相当>	青い森づくりの推進に関する覚書	青森森林管理署
みやぎ森林・林業未来創造カレッジ <研修センターに相当>	みやぎ林業イノベーション推進に関する覚書	仙台森林管理署



いわて林業アカデミーにおける講師派遣の協力
【「獣害対策」の講義】（岩手県矢巾町）



秋田林業大学校へのフィールド提供
【スギの植栽】（秋田署：秋田県秋田市）



宮城県知事と東北森林管理局長との覚書締結式
(R3.11.22)

◆ 民有林への技術支援

■ 森林総合監理士等による民有林行政の支援等

市町村が中心となる森林経営管理制度を後押しするため、**森林総合監理士等を育成**しつつ、県と連携して、**市町村森林整備計画の策定に対する技術的支援**を行います。また、経営管理実施権の設定を受ける事業者の選定委員会への参画、集積計画の作成に当たっての**伐採区域の設定や作業道等の路網の選定への助言**、**森林環境譲与税の情報提供**などにも積極的に取り組みます。

さらに、国有林職員の研修への市町村林務担当職員等の受け入れを行うほか、森林官等が**国有林や事業地へ市町村職員を案内**し、森林の見方や事業の監督・検査業務を紹介するなど、市町村職員の基礎的なスキルアップに協力します。



経営管理実施権の設定に関する会議
(最上支署：山形県最上町)



国有林業務内における町職員への技術指導
(置賜署：山形県小国町)



市町村森林整備計画打合せ
(上小阿仁支署：秋田県北秋田市)

■ 林業技術の紹介

各森林管理署等で開催する現地検討会へ市町村職員を受け入れるなど、新たな林業技術を紹介します。



ICT機器活用現地研修会
(久慈支署：岩手県久慈市)



ドローン操作研修会
(久慈支署：岩手県久慈市)



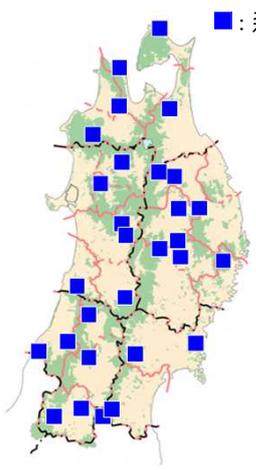
二ホンジカ対策現地見学会
(宮城北部署：宮城県気仙沼市)

■ 森林整備推進協定の締結

民有林と森林共同施業団地を設定し、**民国連携した林業専用道の整備、路網・土場の相互利用**に取り組みます。また、ロットを確保して民有林材を補完し、有利販売となるよう、**協調出荷**に取り組みます。

■ 民有林と共同で行うレーザ計測

森林調査の効率化を図るため、**民有林と連携して**、航空レーザを活用した**森林資源の把握や国有林と民有林の境界情報等のデジタル化**に取り組みます。



■：森林共同施業団地 (令和4年4月1日時点)

県	協定締結	協定面積(千ha)		
		国	民	計
青森	5	19.7	6.0	25.7
岩手	8	10.0	17.0	27.0
宮城	3	11.9	8.1	20.0
秋田	9	9.9	4.4	14.3
山形	7	3.0	2.1	5.1
計	32	54.5	37.6	92.1

H28：24件 → R3：32件

R4：山形県と共同実施予定



レーザ計測での資源情報把握イメージ

3 木材産業の国際＋地場競争力の強化

◆国産材の安定供給

国産材需要の動向、民有林からの供給など、**地域ごとの状況を踏まえ、国有林材を供給**します。製材工場等との間で木材の計画的な供給に関する協定を締結し、安定的に木材を供給する「**安定供給システム販売**」を推進しています。また、間伐などにより得られる木材を安定的に供給する体制を整え、地域の活性化に貢献していきます。



木材生産の様子



土場から木材を運搬



需要減少時に山土場に貯蓄していた木材について、需要の回復時に出荷
(三八上北署：青森県東北町)

製品生産システム販売	R 3年度	R 4年度
材積	479千m ³	505千m ³

◆民有林からの安定供給が期待しにくい木材の計画的な供給

日本三大美林の一つである「**天然青森ヒバ**」及び高齢級秋田杉のブランド「**あきたの極上品**」、広葉樹等の安定的な供給に取り組みます。これに加え、管内の地域ごとの優れた森林資源を有効に活用するため、素材生産事業において出材される優良材を、**天然林国有林高品質材及び高齢級国有林高品質材**として、**地域ごとに新たなブランド化**を推進します。また、原木市場の関係者等を通じて需要動向や情報収集を行い、需要者のニーズを踏まえた採材を実施します。



青森ヒバ
(青森事務所：青森県青森市)



あきたの極上品
(秋田署：秋田県能代市)



アカマツ大径材
(岩手南部署：岩手県一関市)



広葉樹ケヤキ
(仙台署：宮城県仙台市)

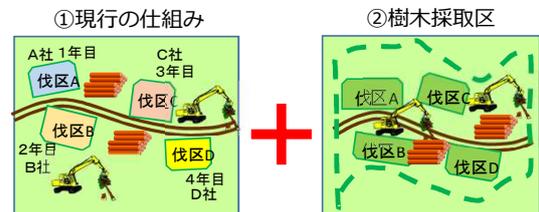
出荷材積 (m ³)	R 3年度	R 4年度
青森ヒバ	8,298	7,846
高齢級秋田杉	1,126	1,525

出荷材積 (m ³)	R 3年度	R 4年度
アカマツ大径木	26	145
広葉樹	1,041	1,671

【樹木採取権制度の運用による木材供給】

現行の入札を基本としつつ、国有林の一定の区域（樹木採取区）において立木を一定期間、安定的に採取する権利を民間事業者を設定できる**樹木採取権制度を活用**し、安定的な事業量を確保することで森林経営管理制度の要となる林業経営者の育成を推進します。

名称	樹種	区域面積 (ha)	採取可能面積 (ha)	存続期間
東北1大曲・船岡樹木採取区	スギ、その他広葉樹	190.74	118.52	R4.2.18～R12.2.17
東北2田子地区樹木採取区	スギ、カラマツ、アカマツ、その他広葉樹	289.87	143.01	R4.3.16～R12.3.15



※現行の国有林の伐採ルールを厳守。伐採跡地の植栽は樹木採取権者への請負により、国が行う。

樹木採取権制度のイメージ

4 都市等における「第2の森林」づくり

◆事業や庁舎等への木材利用

再生可能な資源である木材の利用は、炭素の貯蔵や資材の製造・加工時の二酸化炭素の排出削減により、地球温暖化の防止にも貢献しています。東北森林管理局では、**治山や林道の土木構造物、庁舎等への木材の利用**を推進します。



治山事業への木材の利用
木製残存型枠を使用した床固工
(庄内署：山形県酒田市)



林道事業への木材の利用
左：木製型枠（湯沢支署：秋田県湯沢市）



右：木製型枠（米代東部署：秋田県大館市）



令和3年度に新築した森林技術・支援センター、金木支署中里森林事務所（青森県中泊町）

左：廊下・展示コーナー（化粧壁はスギCLT）

中央：階段（カラマツCLT）

右：会議室（腰壁はヒバ材羽目板）

区分	R 3年度	R 4年度	R 5年度
庁舎等竣工件数	1	0	4

◆消耗品等への木材利用

間伐材チップを活用したコピー用紙、封筒等の調達や、「脱プラスチックは会議のお茶から」として、**カートカン**（カップやストロー無しでも飲める紙製飲料缶。国産材チップを活用）の調達等を進めています。



コピー用紙



名刺、封筒



カートカン

【東北森林管理局の木づかい 注目ポイント】

局や署では、オフィス家具や暖房器具など様々な国産材製品を積極的に調達して、木づかいPRに取り組んでいます。



飛沫防止パネル



会議室テーブル



ペレットストーブ

5 新たな山村価値の創造

◆森林サービス産業の推進

健康、観光、教育など様々な分野で森林空間を活用する「**森林サービス産業**」を推進します。

にっぽんうつく
日本美しい森 お薦め国有林

特に訪れていただきたい森を「日本美しい森 お薦め国有林」として全国93箇所を選定し、重点的な施設整備や情報発信に取り組んでいます。東北森林管理局管内では、**11箇所**を選定しています。



津軽署



岩手北部署



置賜署



三陸中部署



岩手南部署



秋田署



由利署



庄内署



山形署



山形署



山形署



英語版webページ

◆森林環境教育の推進

森林管理署等では、関係人口の拡大に向けて、森林環境教育の実践の場として国有林野が利用されるよう、**プログラムの整備**や**フィールドの提供**等に積極的に取り組んでいます。



◆レクリエーションの森

国有林野を広く活用してもらう目的で、美しい森林や山岳、渓谷、湖沼などの景勝地及び野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」として設定しています。

自然休養林 【11箇所 12,571ha】

特に風景が美しく、保健休養に適している森林です。自然探勝、登山、ハイキング、キャンプなど複合的に楽しむことができます。

自然観察教育林 【27箇所 6,713ha】

自然の変化に富み、自然観察学習に適している森林です。野生動植物の観察や森林の働きなどを学ぶことができます。

森林スポーツ林 【5箇所 260ha】

森林とふれあうアウトドアスポーツを楽しむ森林です。キャンプ、サイクリングなどで自然を体感できます。

野外スポーツ地域 【39箇所 11,272ha】

スキー場や宿泊施設などが一体となった地域です。雄大な自然の中で、爽快な汗を流すことができます。

風景林 【34箇所 9,852ha】

名所、旧跡等と一体になって景勝地を形成している森林です。森林の雄大な眺望と地域の歴史を感じることができる森林です。

風致探勝林 【3箇所 123ha】

山岳、湖沼、渓谷等が一体となった美しい自然景観の探勝を楽しむ森林で、遊歩道等を利用して、様々な樹木、四季折々の自然の織りなす彩りを味わえます。

R3.4.1時点



眺望山自然休養林の遊歩道
(青森署：青森県青森市)



七座山自然観察教養林
(米代西部署：秋田県能代市)



湯殿山スキー場野外スポーツ地域
(庄内署：山形県鶴岡市)

【レクリエーションの森の活用】

山形県上山市は、林野庁の「森林サービス産業」のモデル地域として、企業等で実施するメンタルヘルス対策をサポートするツアーや滞在プログラムの開発に取り組んでいます。

東北森林管理局では、山形森林管理署管内のレクリエーションの森をフィールドとして提供し、森林資源を活かした企業等の健康経営の実現と、交流人口拡大による地域活性化に協力しています。



クアオルト健康ウォーキング
(山形署：蔵王坊平野外スポーツ地域)

6 その他の取組

国民共通の財産である国有林野の管理経営に当たっては、国有林野を「国民の森林」として位置づけ、国民に開かれた管理経営を推進しています。多様で豊かな自然環境や森林・林業に関する知識と経験を活かしながら、国民のニーズを踏まえた様々な取組を行っています。

◆ 国民参加の森林づくり

国民に開かれた国有林野の管理経営のため、自ら森林づくりに参加したいという国民の要請も踏まえ、森林管理署等とボランティア団体等が協定を結び、**国有林野を森林づくりフィールドとして提供**しています。また、技術指導や助言、講師の派遣等の支援を行っています。

さらに、CO2吸収源対策や社会貢献活動の一環として、森林づくりに取り組みたい地域住民や企業等に対して、**分収造林制度**の活用を促します。

ふれあいの森 【16箇所 96ha】

自主的な森林づくり活動

社会貢献の森 【58箇所 25ha】

企業の社会的責任（CSR）活動などを目的とした森林づくり活動

木の文化を支える森 【5箇所 35ha】

地域の伝統文化などの継承に貢献するための国民参加による森林づくり活動

遊々の森 【47箇所 1,983ha】

森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動

多様な活動の森 【3箇所 17ha】

森林保全を目的とした森林パトロール、美化活動

モデルプロジェクトの森 【1箇所 490ha】

地域や森林の特色を活かした森林管理の実施を目的とした森林整備・保全活動 R4.2.1時点



社会貢献の森での下刈作業
(仙台署：宮城県仙台市)



遊々の森での枝打体験
(最上支署：山形県真室川町)



分収造林によるウルシ林造成の協定締結
(岩手北部署：岩手県二戸市)

◆ 国有林モニター

国民の要請を的確に把握し、これを反映した国有林野の管理経営を推進するため、**一般公募により「国有林モニター」を依頼**しています。国有林モニターには、毎月の資料による情報提供や現地見学会への参加等を通じて理解を深めていただいています。



現地見学会（秋田署管内）

左：多様で健全な森林への誘導について説明 右：ドローン操作見学



モニター会議（秋田県秋田市）